

第5問 (選択問題) (配点 20)

点Oを原点とする座標空間に4点A(2, 7, -1), B(3, 6, 0), C(-8, 10, -3), D(-9, 8, -4)がある。A, Bを通る直線を ℓ_1 とし、C, Dを通る直線を ℓ_2 とする。

(1)

$$\overrightarrow{AB} = (\boxed{\text{ア}}, \boxed{\text{イウ}}, \boxed{\text{エ}})$$

であり、 $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{CD} = \boxed{\text{オ}}$ である。

(2) 花子さんと太郎さんは、点Pが ℓ_1 上を動くとき、 $|\overrightarrow{OP}|$ が最小となるPの位置について考えている。

Pが ℓ_1 上にあるので、 $\overrightarrow{AP} = s\overrightarrow{AB}$ を満たす実数sがあり、 $\overrightarrow{OP} = \boxed{\text{カ}}$ が成り立つ。

$|\overrightarrow{OP}|$ が最小となるsの値を求めればPの位置が求まる。このことについて、花子さんと太郎さんが話をしている。

花子： $|\overrightarrow{OP}|^2$ が最小となるsの値を求めればよいね。

太郎： $|\overrightarrow{OP}|$ が最小となるときの直線OPと ℓ_1 の関係に着目してもよさそうだよ。

(数学Ⅱ・数学B第5問は次ページに続く。)

数学Ⅱ・数学B

$|\vec{OP}|^2 = \boxed{\text{キ}} s^2 - \boxed{\text{クケ}} s + \boxed{\text{コサ}}$ である。

また、 $|\vec{OP}|$ が最小となるとき、直線 OP と ℓ_1 の関係に着目すると **シ** が成り立つことがわかる。

花子さんの考え方でも、太郎さんの考え方でも、 $s = \boxed{\text{ス}}$ のとき $|\vec{OP}|$ が最小となることがわかる。

力 の解答群

- | | |
|---|---|
| ① $s \vec{AB}$ | ② $\vec{OA} + s \vec{AB}$ |
| ③ $(1 - s) \vec{OA} + s \vec{OB}$ | ④ $(1 - s) \vec{OA} + s \vec{AB}$ |

- | | |
|--|--|
| ① $s \vec{OB}$ | ③ $(1 - 2s) \vec{OA} + s \vec{OB}$ |
|--|--|

シ の解答群

- | | |
|---|---|
| ① $\vec{OP} \cdot \vec{AB} > 0$ | ② $\vec{OP} \cdot \vec{AB} < 0$ |
| ③ $\vec{OP} \cdot \vec{AB} = \vec{OB} \cdot \vec{AP}$ | ④ $\vec{OP} \cdot \vec{AB} = \vec{OP} \vec{AB} $ |
| ⑤ $ \vec{OP} = \vec{AB} $ | ⑥ $\vec{OB} \cdot \vec{AP} = 0$ |

(数学Ⅱ・数学B第5問は次ページに続く。)

数学Ⅱ・数学B

- (3) 点Pが ℓ_1 上を動き、点Qが ℓ_2 上を動くとする。このとき、線分PQの長さが最小になるPの座標は(セソ , タチ , ツテ), Qの座標は(トナ , ニヌ , ネノ)である。